

東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科での論文審査にかかる外部審査委員の決定方法に関する申合せ

平成18年4月20日

海洋大規第344号

改正 平成23年10月20日 海洋大規第 43号

改正 平成30年11月15日 海洋大規第120号

改正 令和元年10月23日 海洋大規第185号

改正 令和 3年 3月29日 海洋大規第 89号

東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科（以下「研究科」という。）での論文審査における外部審査委員の決定方法については、以下のとおり行う。

第1 研究科で外部審査委員を必要とするときは、論文審査委員会主査が所属する専攻の専攻主任が、別記様式第1「東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科外部審査委員資格審査申出書」により、大学院海洋科学技術研究科長（以下「研究科長」という。）に申し出るものとする。

第2 研究科長は、第1の申し出に基づき代議員会に諮り、資格審査委員会を設置することとする。ただし、研究科、東京商船大学大学院商船学研究科及び東京水産大学大学院水産学研究科（それぞれ連携大学院を含む。）において既に外部審査委員の資格が認められている者並びに他大学院において研究科での研究指導又は講義を担当する教員以上としての資格が認められている者（以下「有資格者」という。）については、資格審査委員会の設置を省略することができる。この場合において、代議員会議長は有資格者である旨を代議員会へ報告し、了承を得るものとする。

第3 資格審査委員会の設置、審査その他必要な事項は、東京海洋大学における大学院担当教員資格審査に関する細則（平成16年海洋大規第345号）の規定を準用する。

第4 資格審査委員会は、別記様式第2「東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科外部審査委員審査資料」により審査を行い、資格審査委員会委員長は、資格審査委員会での資格審査結果を別記様式第3「東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科外部審査委員資格審査報告書」により代議員会議長に報告し、代議員会議長は、代議員会において、外部審査委員としての適否を投票により決定するものとする。ただし、有資格者の審査について、第2のただし書きを適用せず資格審査委員会を設置した場合にあっては、当該資格審査結果の報告をもって、可否投票を省略する。

第5 この申合せに定めるもののほか、必要な事項は研究科長が定める

附 則

この申合せは、平成18年4月20日から施行する。

附 則（海洋大規第43号）

この申合せは、平成23年10月20日から施行する。

附 則（海洋大規第120号）

この申合せは、平成30年11月15日から施行する。

附 則（海洋大規第185号）

この申合せは、令和元年10月23日から施行する。

附 則（令和3年海洋大規第89号）

この申合せは、令和3年4月1日から施行する。

別記様式 1

東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科外部審査委員資格審査申出書

(元号) 年 月 日

大学院海洋科学技術研究科長 殿

_____ 専攻主任

氏 名

下記のとおり申し出ます。

現職・氏名			
専攻名等	<input type="checkbox"/> 博士前期課程	専攻 専攻分野	
	<input type="checkbox"/> 博士後期課程	専攻 専攻分野	
担当内容			
申し出の経緯			
	<input type="checkbox"/> 農学 <input type="checkbox"/> 工学 <input type="checkbox"/> その他		
審査委員	氏名	氏名	氏名

注「申し出の経緯」欄には、専攻内における必要性等についても記述すること。

別記様式第 2

東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科外部審査委員審査資料

(その 1)

履 歴 書			
フリガナ 氏 名		男・女	生年月日 (年齢) (満 才)
本籍地又は国籍		現住所	
学 歴			
年 月	事 項		
職 歴			
年 月	事 項		
学会及び社会における活動等			
年 月	事 項		
賞 罰			
年 月	事 項		
論 文 数			
(うち最近 5 年間の論文数) <<First authorの論文数>> <<Corresponding authorの論文数>>			
学術論文数	() << >>< >	著書数	()
発表論文数	() << >>< >	その他	() << >>< >

研究発表数	() <>< >							
職 務 の 状 況								
勤 務 先	職 名	学部, 学科等(所属部局)の名称	担当授業科目名	担当授業単位数				備考
				専 任	専任以外	非常勤講師等	計	
上記のとおり相違ありません。 年 月 日 氏 名 ⑩								

(注)

- 1 この書類は、本学に在職する教員等以外が研究科での論文審査にかかる外部審査委員を担当する場合に作成する。
- 2 「生年月日(年齢)」の欄の年齢については、提出月の1日現在とすること。
- 3 「学歴」の欄には、大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴(学位及び称号を含む。)のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入すること。なお、資格等についても同欄に記入すること。
- 4 「職歴」の欄には、職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記すること。
なお、過去における教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、職名(大学院にあつては、判定結果を含む。)を記入すること。非常勤講師の委嘱を受けた場合に限り、担当授業科目名を記入すること。
- 5 「学会及び社会における活動等」の欄には、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入すること。また、教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入すること。
- 6 「職務の状況」の欄には、記入日現在における職務の状況について記入すること。
- 7 この書類には、当該教員が担当するすべての授業科目について、その内容を記載した書類を添付すること。
- 8 「氏名」の欄への押印は、本人の署名をもって代えることができること。(以下同じ)

(その2)

教育研究業績書

(元号) 年 月 日

氏名

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書, 教材		
3 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		
4 実務家教員についての特記事項		
5 その他		
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
1 資格, 免許		
2 特許等		
3 実務家教員についての特記事項		
4 その他		

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所, 発表雑誌等又 は発表学会等の名称	概 要 (各事項を具体的に50字程度でま とめて記入のこと)
(著書) 1 2 3 4 5				
(学術論文) 1 2 3 4 5				
(発表論文) 1 2 3				
(発表論文) 1 2 3				
(その他) 1 2 3				
<p style="text-align: center;">上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">氏 名</p> <p style="text-align: right;">㊟</p>				

別記様式第3

東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科外部審査委員資格審査報告書

年 月 日

代 議 員 会 議 長 殿

大学院海洋科学技術研究科

専攻 専攻分野

外部審査委員資格審査委員会

委員長

下記のとおり報告いたします。

1 審査された者について	現 職		
	(ふりがな)		
	氏 名		
	生 年 月 日	年	月 日
2 審査結果	職 名	外部審査委員	
	専 攻 名 等	<input type="checkbox"/> 博士前期課程	専攻 専攻分野
		<input type="checkbox"/> 博士後期課程	専攻 専攻分野
	担 当 内 容		
	判 定	可 否	
3 審査を行った日	年	月 日	
4 審査経過			
5 備考			

注 外国人教員を採用する場合には、1の「氏名」欄に括弧書きで国籍を記入し、ふりがなは片仮名で記入すること。